

2/15

平成24年(2012年)

No.1000

# 広報むこう

## 主な記事

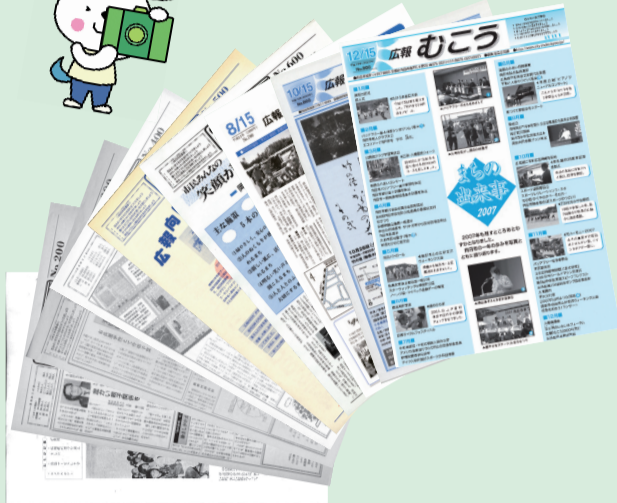
- 広報紙1000号までのあゆみ……………2面
- 考えよう「人権」……………3面
- 消費者トラブルにご用心……………3面
- くらしの情報……………4～5面
- 市民の情報掲示板……………5面
- まち歩き……………6面

むこまる



- ◎ 向日市民憲章 ◎
- 1 住みよいまちを力を合わせつくりましょう
  - 1 すぐれた教育と文化を育てましょう
  - 1 きれいな緑と水と空を守りましょう
  - 1 明るいくらしと福祉のまちをぎざぎざしましょう
  - 1 働くよるこびと心のふれあいを大切にしましょう
  - (昭和52年11月3日制定)

●向日市役所 / 〒617-8665 京都府向日市寺戸町中野20  
☎075(931)1111 FAX075(922)6587  
HP <http://www.city.muko.kyoto.jp/>  
●編集/秘書広報課(内線240)



## まちのあゆみ



# 記して1000号

昭和29年6月25日に「町のあゆみ」と題した広報紙を発行して以来、この2月15日号で「広報むこう」は1000号を迎えました。広報紙が発行されるまでは、掲示や回覧、ポスターなどで行われていた広報活動。「町民の皆様とより連繫を密にしたい」との思いから発行した、と創刊号に記されています。

1000号までの間に、市制が施行され、広報紙のデザインも変更されるなど、さまざまな変化がありました。今号ではその歴史を少し振り返ります。

### 歴代のカラー紙面

現在は2色刷りで発行している広報紙ですが、カラーで発行していた号も数多くあります。その一部を紹介します。

昭和57年1月発行 270号



初のカラー紙面

平成6年7月発行 577号



天文館開館1周年

平成6年8月発行 580号



向日かぐや太鼓が完成

平成7年11月発行 610号



向日市・杭州市友好交流10周年

平成15年4月発行 787号



お花見スポット紹介

平成23年1月発行 974号



第14回観光写真コンテスト

### 創刊号はこんな紙面

昭和27～29年度別の一般会計予算の内容や、町役場の機構案内、編集担当からの「弘報についてお願い」などが掲載されていました。



### より読みやすく わかりやすい紙面をめざして

1000号を迎えるにあたり、広報紙のあゆみをみてきました。どの時代にも共通することは、市民の皆様により分かりやすく情報を伝えたいという、編集者の思いであるとあらためて感じました。

「広報むこう」は、市民の皆様と市政を結ぶ情報紙です。これからもより読みやすくわかりやすい紙面作りを心がけてまいります。



お問い合わせ 秘書広報課(内線240)

## 向日市 児童虐待防止講演会

### 出会いの人生から学んだこと

～子どもに寄り添える心を育てる～

3月18日(日) 午後2時～3時30分(午後1時30分開場) 市民会館ホール

現在、児童虐待件数は増加をたどる一方で、深刻で重大な事件も後を絶たない状況です。

児童虐待をなくすためには、早期発見や未然防止が非常に重要です。未来を担う子どもたちを保護者や地域住民でどのように守り育てていくか、考えてみませんか。お気軽にご来場ください。

#### ■ 整理券が必要です ■

3月1日(木)から、市内の主な公共施設で整理券を配布します。無くなり次第終了。

- 定員/420人
- 保育/満1歳以上就学前までの幼児(定員10人)が対象。3月1日(木)～12日(月)に電話で、子育て支援課へお申込みください。
- 備考/手話通訳、要約筆記あり。
- 主催/向日市



お問い合わせ 子育て支援課(内線348)



講師: 菊地幸夫さん(弁護士)

日本テレビ「行列のできる法律相談所」などにレギュラー出演。各地のトライアスロン大会へ出場し、地元小学生バレーボールチームの監督なども務める。

# 広報紙1000号までのあゆみ

## ◆タイトルの移り変わり◆

1000号までの間に、広報紙のタイトルが何度も変更されました。その変遷を見てみましょう。



▲創刊号～5号  
背景に山里が描かれていた



▲6号～97号  
両側に竹のイラストを配置



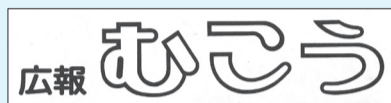
◀98号～135号  
ロゴ風のタイトルへ



◀136号～174号  
白抜き文字を初めて使用



◀175号～618号  
丸みを帯びたデザインに



◀619号～792号  
シンプルな白抜き文字



◀793号～  
現在おなじみのタイトル

## ◆特集号の発行も◆

通常の広報紙以外に、号数のない「こども広報」などの特集号も発行されました。



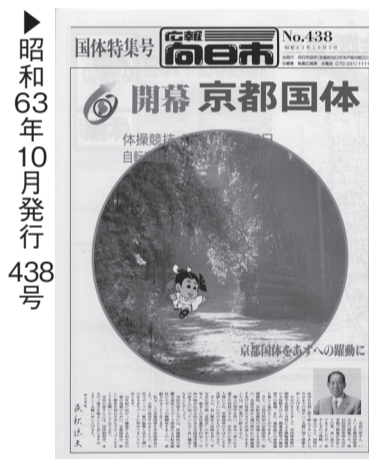
▶昭和47年10月発行 98号

①市制特集号



▶昭和51年4月発行 138号

②予算特集



▶昭和63年10月発行 438号

③国体特集号



▶昭和49年7月発行

④夏休み特集 こども広報



▶平成2年11月発行

⑤向日市まつり特集号



▶平成7年2月発行

⑥地震災害特集号

発行年月 号数	広報紙の主な足跡
昭和29年6月 創刊号	「町のあゆみ」と題した広報紙を発行
昭和31年4月 6号	タイトルを「広報向日町」に変更。当時の予算などを掲載
昭和47年10月 98号	市制施行特集号(①)。タイトルを「広報向日市」に
昭和48年5月 100号	第4向陽小学校が開校。児童数614人でスタート
昭和48年11月 104号	不定期発行から月1回発行へ
昭和49年7月 特集号	広報向日市夏休み特集として「こども広報」を発行(④)
昭和51年3月 136号	タイトルデザインを変更
昭和51年4月 138号	予算特集号を発行(②)
昭和53年4月 175号	発行を月1回から月2回へ。タイトルデザインを変更
昭和54年4月 200号	「声の広報」スタート
昭和57年1月 270号	初のフルカラー表紙(1ページ参照)
昭和58年3月 300号	森本公民館が完成
昭和59年11月 340号	長岡京遷都1200年。図書館と文化資料館が開館
昭和62年4月 400号	旧向日町役場の跡地に向日コミセンがオープン
昭和63年10月 438号	京都国体特集号を発行(③)
平成2年11月 特集号	向日市まつり特集号を発行(⑤)
平成3年4月 500号	全ページ3色刷りで作成
平成7年2月 特集号	阪神・淡路大震災の発生を受け、特集号を発行(⑥)
平成7年6月 600号	平成7年度補正予算案を掲載
平成8年4月 619号	タイトルを「広報むこう」に変更
平成11年8月 700号	子育て支援センター「秋桜」オープン
平成13年4月 739号	左開きの紙面に
平成15年7月 793号	タイトルデザインを変更。現在の形に
平成15年10月 800号	図書館、文化資料館、天文館が祝日開館に
平成19年10月 895号	有料広告掲載を開始
平成19年12月 900号	15日号で900号を迎える
平成20年4月 908号	紙面サイズ変更。縦が2.4cm長くなる
平成24年2月 1000号	本紙面

広告

## 平成24年 経済センサス-活動調査



調査票のご提出、ありがとうございます。まだお済みでない方は、お早めの提出をお願いします。  
☎総務課(内線350)

「経済の国勢調査」です。  
全国全ての企業、全ての事業所が対象です。  
○この調査は統計法に基づく基幹統計調査で、調査票に記入して提出する義務があります。  
○提出された内容は、統計作成の目的以外(税の資料など)には絶対に使用しません。

# 考えよう『人権』

人権は「一人ひとり人間を個人として尊重する」という考えから生まれました。これは、人間の命や身体、個性や価値観を大切にすることです。

人権は、弱い立場に置かれた、限られた人たちに対する差別や虐待などだけの問題ではなく、私たち一人ひとりの生活全般に関わる身近で範囲の広い問題であるということが出来ます。

個人を尊重するという事は、違いを認め合うということです。人は皆かけがえのない存在であり、誰かと全く同じ人間は一人としていません。いろいろな個性、多様な価値観を持つ人たちが集まって形成されているのが私たちの「社会」です。

それぞれの違いを当たり前のもとし、その上ですべての人が幸せに暮らしていくためにはどうしたらいいのか、という観点で、いろいろな社会的関係をつくる事が、人権が尊重される社会を実現するための取り組みであり、私たち一人ひとりがその担い手になることが求められています。

## □人権問題の現状□

私たちの身の周りには、同和問題をはじめとして、女性、障がい者、高齢者、子ども、外国人、インターネットを悪用した人権侵害などさまざまな人権問題が存在しています。

私たちは、誰もが平等で幸せに暮らせるよう、お互いを尊重し、力を合わせて人権を大切にすることを築いていくことで、はじめて一人ひとりが豊かに生きることが出来るのです。

これから6回にわたり、私たちの暮らしの中で気付いた人権に関するさまざまなお話を紹介するので、人権問題を解消するために何が必要かをみんなと一緒に考えましょう。

## ① 私たちにできること

街角で「差別をするのはやめましょう」「子どもに対する虐待防止」というような人権に関する標語をよく見かけます。

看板やのぼりを立て、たすきや法被を着てPR物品を配布するいわゆる「街頭啓発」や講演会など、さまざまな形で人権に関する活動が行われていますが、それだけで人権問題が解決するわけではありません。

「高齢者や子どもに対する虐待」「ドメスティック・バイオレンス」「近隣トラブル」などの事件が、新聞やテレビで毎日のように報道されています。日常生活を送る上でいつ直面しても不思議ではなく、いつ当事者になってもおかしくない問題ばかりです。

これらの解決のためには、人権問題は人ごとではなく、いつ自分に降りかかってきてもおかしくない問題だということを、普段から一人ひとりが認識することが大切です。

私たちは、自分の「人権」は守ろうとしますが、他人の人権には無関心な人が少なくありません。自分の人権と同じように、他人の「人権」も大切に守らなければなりません。

私たちの周りには、いろいろな人がいます。それぞれに個性があり、違いがあります。どのような人に対しても、見た目や固定観念、人のうわさなどにとらわれることなく、私たち一人ひとりがまず、相手を認める優しい心を持つことが必要です。その優しい心が、心豊かな明るい社会につながります。

お問い合わせ 市民参画課 (内線291)

## 市議会の開催予定

時間はいずれも午前10時からです。どなたでも傍聴していただけます。

※一般質問の事項は、公共施設などで事前に公表します。

☎議会事務局  
(内線318)



2月24日(金)	本会議(提案説明)／議場
3月6日(火)	本会議(一般質問)／議場
7日(水)	本会議(一般質問)／議場
8日(木)	本会議(予備日)／議場
12日(月)	厚生文教常任委員会／大会議室
13日(火)	建設環境常任委員会／大会議室
14日(水)	総務常任委員会／大会議室
21日(水)	本会議(委員長報告・討論・採決)／議場

## 消費者トラブルにご用心



## 俳句の雑誌掲載への電話勧誘

### 相談事例

趣味で俳句をしている。先日「大変心に残る俳句なのでぜひ、雑誌に掲載しませんか」と突然電話がかかってきた。ほめられて悪い気はせず契約してしまったが、冷静に考えると掲載料が高額だ。また、契約通り掲載されるか不安。

### アドバイス

事例のような相談が全国の消費者センターへ寄せられています。「すばらしい作品だ」「心に残る」などほめ上げて俳句や絵画などの作品を「掲載します」「出版します」と言われ、高額な掲載料を請求されるなど、高齢者を狙い、趣味に対する心理を巧みに利用した手口が見られます。どこに掲載されたのか、また、発行部数など確認できないものもあります。

掲載料については、無料と言われていたにもかかわらず、後から請求された、また断っているのに、掲載したと請求書を送付してくるトラブルなどもあります。一度掲載すると次々と勧誘されるケースが多く、断るときは毅然と断ることが大切です。勝手に掲載された場合や勧誘を断った場合など、承諾していないのに請求書が届いた場合には契約は成立していないので、支払う必要はありません。

電話勧誘販売の場合、契約書を受け取ってから8日間はクーリング・オフにより無条件で契約を解除することができます。

断ってもしつこく勧誘された場合は、相談室までご連絡ください。

### ■一人で悩まず消費生活相談へ■

●相談日／毎週月・水曜日(祝日を除く午前9時～正午、午後1時～4時)、毎週火・木・金曜日(祝日を除く午後1時～4時)

●相談場所／相談室1(市役所本館1階)  
☎消費生活相談専用電話 ☎931-8168

### ■土・日曜日、祝日の消費生活電話相談■

緊急を要するクーリング・オフや架空請求などに対する助言を行っています。  
(京都府・京都市の共同事業)

●相談日時／土・日曜日、祝日の午前10時～午後4時

☎257-9002(電話相談のみ)



☎環境政策課 市民安全係 (内線235、249)



■ 子育て

子育てサポート「おひさま」

- 日時／3月10日(土) 午前9時30分～
- 場所／あひるが丘保育園(物集女町北ノ口)
- 内容／おやつ作りとミニ講演会
- 持ち物／エプロン、三角巾
- 申込み／開催日1週間前までに電話、ファクスで、あひるが丘保育園(☎921-0005、FAX921-0040)へ。

■ そのほかの催し

向日町競輪場の「朝市」

「むこう愛菜市」出店の農家が、栽培した新鮮な野菜などを直売します。売り切れ次第終了。

- 日時／2月26日(日) 午前10時～
- 場所／向日町競輪場内 第1投票所前
- 主催／向日町競輪場
- 協力／向日市

※「むこう愛菜市」に出店していただける向日市の農家の方を募集しています。

☎産業振興課(内線238)

サービス情報

■ 福祉

認知症徘徊模擬訓練を実施します

徘徊行動のある認知症高齢者が行方不明になった場合を想定して、早期に発見し保護するネットワークの充実を目的に実施します。訓練と同時に、イオン向日町店と神崎屋本店で認知症に関するアンケート調査も行いますので、ご理解とご協力をお願いします。

- 日時／2月23日(木) 午後1時30分～3時ごろ
- 内容／福祉会館から阪急西向日駅まで公道沿いを歩き、阪急西向日駅から阪急東向日駅まで電車で移動

☎障がい高齢福祉課(内線345)

向日市地域包括支援センター ☎921-1550

■ 子育て

子ども手当の申請はお済みですか  
提出期限は3月31日

平成23年10月から、子ども手当の制度が変更になりました。そのため、子ども手当支給対象者の方(0歳～中学校修了までの子どもがいる世帯)はあらためて子ども手当の請求手続をしていただく必要があります。

子ども手当を受給されていた方には、平成23年10月下旬に申請書をお送りしておりますので、手続きがお済みでない方は確認の上、手続きをしてください。提出期限は3月31日(郵送の場合は当日消印有効)です。期限までに申請されなかった場合は、申請の翌月分からの支給となりますので、ご注意ください。※平成24年4月以降については、あらためてお知らせします。

☎子育て支援課 子育て支援係(内線349)

■ 人材募集

向日市立保育所 アルバイト保育士募集

- 対象／保育士登録が完了している方
- 勤務時間／午前8時30分～午後5時(時差勤務あり)
- 時間給／960円
- 申込み／市販の履歴書(写真貼付)に必要事項を記入し、保育士証(写し)を添えて子育て支援課 保育係(内線344)へ。

■ 国民健康保険

納付相談窓口を設けます

市は、次の日程で国民健康保険料の納付相談窓口を夜間や休日に開設します。期限内に納付が困難な場合や一括納付が難しいときは分割納付もできますので、納付計画をお考えの上、相談してください。

※職場の健康保険加入者で国保の喪失届をしていない方は、職場の健康保険証、国民健康保険証、印鑑を持参して、手続きにお越しください。

■ 夜間納付相談

- 日時／2月23日(木)、24日(金)、3月15日(木)、16日(金)、午後5時～8時

■ 休日納付相談

- 日時／2月26日(日)、3月18日(日)、午前9時～午後5時(正午～午後1時を除く)

※場所はいずれも、医療保険課(市役所別館1階)

□ 2月、3月は国民健康保険料徴収強化月間 □

国民健康保険の医療費は、年々増加傾向にあります。今年度の医療費は、前年の同時期と比べ大きく伸び、国保事業の運営が厳しい状況にあります。

市は、2月、3月を強化月間とし、市民負担の公平性と国民健康保険の大切な財源である保険料収入の確保に努めます。保険料の納付には、安全で便利な口座振替をご利用し、期限内に納めてください。納付相談期間中、お仕事などで日中留守の方には、夜間や休日に電話や訪問で納付をお願いすることがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

☎医療保険課 保険料収納係(内線325、330)

■ 税

保険年金所得の取扱い変更に伴う  
個人住民税特別給付金の還付申請

遺族の方が年金として受給する生命保険金などのうち、相続税などの課税対象となった部分については、所得税の課税対象としないよう取扱いが変更となりました。これにより、過去5年以内で納めすぎとなっている所得税を還付し、市・府民税についても減額・還付をしてきました。

このたび、過去5年を超える平成12～17年分の各年分の所得税についても、特別還付金として支給されることになりました。これに伴い、向日市においても、平成13～18年度分の個人市・府民税について、納めすぎとなっている分を「特別給付金」として還付することになりました。

平成25年1月31日までに、特別還付金の計算の基礎となる資料を添付した市・府民税特別給付金請求書などの書類を持参し、申請してください。

※詳しくは、国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp>「平成12年から平成17年の間に相続等に係る生命保険契約等に基づく年金を受給していた方へ」)をご覧ください。

☎税務課 市民税係(内線222、223)

東日本大震災に係る税制上の措置など

東日本大震災で被害を受けられた方は、所得税の軽減・免除が受けられ、税務署で手続きをすることで所得税が還付になる場合があります。また、源泉所得税の徴収猶予や還付、廃車となった自動車の自動車重量税の還付などの特例があります。

なお、地方税についても、被害状況に応じて特例が受けられる場合があります。詳しくは、国税については国税庁ホームページ(<http://www.nta.go.jp>「東日本大震災により被害を受けた場合等の税金の取扱いについて」)をご覧ください。最寄りの税務署へお問い合わせください。地方税については、税務課 市民税係(内線222、223)へ。

市民の情報掲示板



市民の皆様などから寄せられた情報を掲載しています。掲載については秘書広報課(内線240)へお問い合わせください。  
※参加費などの記載がないものは無料です。

※掲載をご希望の方で、ファクスや電子メールを利用して記事をお送りになる場合は、まず秘書広報課(内線240)まで、お電話でお知らせください。

おわび

広報むこう平成24年2月1日号の3ページ「西国街道ひな人形めぐり」の展示施設のうち「木村文具店」はひな人形を展示していません。

おわびして削除・訂正いたします。

☎秘書広報課(内線240)

こうほう じょうほう

男性のための料理教室

まじふり

慎重に包丁で切る



された」人もおり、動機はさまざまだが、皆エプロンに

「妻の苦勞が分かった」

男性の自立には欠かせない、大きな要素である「料理」を身につける「男性のための料理教室」が市民会館で開かれた。のぞいてみると、八人の男性が参加。六十〜七十代が大半で四

代の方もいた。一人暮らしの人や奥さんに「背中を押された」人もおり、動機はさまざまだが、皆エプロンに

中華丼はあつあつを食べ



▲ 完成です

葉はざく切り、水煮たけのこは薄切りにする。サラダのリングゴは皮を残していちよう切り。酸辣湯のきくらげはせん切り...と、食材を準備するために、包丁が大きな働きをする。この包丁さばきに慣れた人もいたが、包丁に縁のなかった人、手元のおぼつかない人もいた。「短冊切りって?」「卵六十グラムは一個?」などの基礎的な質問もでた。自立の道が見えてくる?

お届けします「広報むこう」

市が発行している広報紙「広報むこう」は、毎月1日と15日に、京都新聞、朝日新聞、読売新聞、毎日新聞、産経新聞の朝刊5紙の新聞折り込みで配布しています。これらの新聞をとっておられない方には、秘書広報課から広報紙を直接送付していますので、直接またはお電話などでお気軽にお申し出ください。

「声の広報」が必要な方はご連絡を

市は、「広報むこう」(毎月1日と15日発行)の内容をカセットテープに吹き込んだ「声の広報」を配布しています。目の不自由な方など「声の広報」を必要とされている方がおられましたら、秘書広報課へお知らせください。

※「声の広報」は、朗読ボランティア「ともしび」の皆様によって作成されています。

☎秘書広報課(内線240、FAX922-6587)

届いていますか「きょうと府民だより」(京都府広報紙)

毎月1日に京都府が発行している「きょうと府民だより」は、向日市にお住まいの皆様へは、各ご家庭の郵便受けなどに直接お届けしています。

配布期間は毎月1日とその前後3日間です。届いていない場合などはご連絡ください。

また、府内在住の視覚障がいの方を対象に点字版、文字拡大版、テープ版、デジ版も発行しています。ご希望の方は京都府広報課までご連絡ください。

「きょうと府民だより」は、京都府ホームページ(HP http://www.pref.kyoto.jp/koho/dayori/)からもご覧いただけますのでご利用ください。

☎京都府 広報課 ☎414-4074、FAX414-4075



新着図書

空の絵本 今月の一冊

長田弘 作 荒井良二 絵 講談社

森の中の雨。だんだん雨はつよくなり、空は青い色が灰いろになります。雨はますます強くよこなぐりになり、空は雷がとどろきます。そして、静かになり、空気がすんできます。森の空の一日の移り変わりが、詩人・長田さんの言葉と荒井さんの絵で表された絵本です。

新着図書を利用するには

図書館は現在、空調設備の改修工事を行っており、4月上旬(予定)まで休館しています。そのため、掲載の新着図書をお読みにになりたい場合は、まず「予約」が必要です。

「予約」をするには、図書館の貸出券をお持ちの上、図書館隣の文化資料館2階研修室へご来館いただくか、図書館にお電話ください。事前登録をされている方は、図書館ホームページからインターネット予約をすることもできます。「予約」が多いときは順番待ちになります。本の用意ができましたら、後日図書館からあらためて電話などでご連絡いたします。

現在、図書館は、隣の文化資料館2階研修室で予約資料の貸出、予約受付、貸出期間の延長、貸出券の発行のみを行っています。本など図書館資料の閲覧はできません。

児童図書

- できたよ、なわとび 太田昌秀 監修 ベースボール・マガジン社
●なでしこジャパン スポーツ伝説研究会 著 汐文社
●おはなしで身につく四字熟語 福井栄一 著 毎日新聞社
●モーグルビート! 工藤純子 著 ポプラ社
●ドレミファ荘のジジルさん たかどのほうこ 作 理論社
●父さんの手紙はぜんぶおぼえた タミ・シエム＝トヴ 著 岩波書店
●やきいもするぞ おくはらゆめ 著 ゴブリン書房

一般図書

- 科学者の本棚 「科学」編集部 編 岩波書店
●ピュリツァー賞受賞写真全記録 ハル・ビュエル 著 日経BPマーケティング
●関羽 神になった「三国志」の英雄 渡邊義浩 著 筑摩書房
●高校生にもわかる「お金」の話 内藤忍 著 筑摩書房
●オリオン星雲一星が生まれるところ C・ロバート・オデル 著 恒星社厚生閣
●都会のキノコ 大館一夫 著 八坂書房
●痛風に効くおいしいレシピ200 藤森新 医学監修 法研
●現代日本建築家列伝 五十嵐太郎 著 河出書房新社
●足もとのおしゃれとケア COMODO編集部 編 技術評論社

- 宇宙の誕生 ビッグバンへの旅 ルーシー&スティーブン・ホーキング 著 岩崎書店
●わがはいはのっぺらぼう 富安陽子 文 飯野和好 絵 童心社
●えんそく くすのきしげのり 原作 いもとようこ 文・絵 佼成出版社
●蛙のゴム靴 宮沢賢治 作 松成真理子 絵 三起商行
●ねえ、おきてる? ソフィー・ブラックオール 作 光村教育図書
●さあ、とんでごらん! サイモン・ジェームス 著 岩崎書店
●さんすうサウルス ミッシェル・マーケル 文 ダグ・クシュマン 絵 福音館書店

- めがねを買いに 藤裕美 著 WAVE出版
●家族が好きな和のおかず 大原千鶴 著 世界文化社
●美味しい、おかゆ 帯津良一 著 検見崎崎美 料理 河出書房新社
●母乳育児ミルク育児の不安がなくなる本 渡辺とよ子 監修 主婦の友社
●蝶々にエノケン 私が出会った巨星たち 中山千夏 著 講談社



☎図書館 ☎931-1181、FAX931-1081

